

H23年度 オクラ生産履歴記帳簿

(作型: ハウス, トンネル, 露地) 該当する作型に○をつけましょう。

住所

氏名

個人情報保護のため、
掲載を見合わせます。

【ほ場】

	ほ場字地番	面積	は種日
1	〒174 0887-5	10 a	1/22
2		a	
3		a	
4		a	
5		a	

農薬を使用する際は、必ず適正使用基準に基づき正しく使用し、生産履歴記帳に努めましょう。

【管理作業】

実施日	主な管理作業
1/10	苦土石灰(100 kg)
/	ヨーリン(kg)
1/10	堆肥(品名: 牛糞 みのり 700kg)
1/20	基肥(品名: オクラ配合 50 kg)
4/1	追肥1回目(品名: 液肥特号 30 kg)
4/25	追肥2回目(品名: " 30 kg)
5/15	追肥3回目(品名: " 30 kg)
5/20	" 30 kg
5/28	" 30 kg
/	
/	
/	
/	
/	

【土壌消毒】

農薬名	10a当たり 使用量	使用時期	使用回数	センチュウ	ネキリ虫	ハリガネ虫	幼虫	コガネ虫類	苗立枯れ病	半身萎凋病	消毒日
クロールピクリン	3ml/1穴	-	1							◎	1/10
<u>ソイリン</u>	20~30L (1穴2~3ml)	作付の 10~15日前まで		◎					◎		
テロン92	15~20L (1.5~2ml/1)	作付の 10~15日前まで	1	◎			◎				/
ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	は種前		◎							
ネマトリン粒剤	30kg/10a	は種前		◎							

【収穫作業】

4月6日 ~ 月 日

注意! この記帳簿は県農薬使用の手引き等に基づき、平成22年12月20日現在において指宿市技連会で作成していますが、生産履歴記帳を推進するために作成したものであり、使用できるすべての農薬を記載したものではありません。
農薬の使用に際しては、使用するもの自らの責任において、正しく使用することが法律において義務づけられています。農薬の登録変更

殺菌剤

野菜類で登録	農薬名	成分名	使用量 希釈倍数	何日(収穫前)まで 使用時期	使用回数	うどんこ病	苗木枯病	かび病	灰病	葉枯病	葉すず病 (黒斑病)	農薬散布日							
												1	2	3	4	5	6	7	8
○	硫黄粉剤50	硫黄	3kg/10a	—	—	◎	ハダニ類にも登録					/	/	/	/	/	/	/	
○	イオウフロアブル		500~1000倍	—	—	◎							/	/	/	/	/	/	/
○	インプレッション水和剤※	ハチルス ブチス	500~1000倍	発病前から発病初期まで	—	◎		◎				/	/	/	/	/	/	/	/
○	ボトキラー水和剤※		1000倍	発病前から発病初期まで	—	◎		◎				/	/	/	/	/	/	/	/
○	カリグリーン	炭酸水素 カリウム	800~1000倍 800倍	収穫前日まで	—	◎			◎			/	/	/	/	/	/	/	/
○	ジーファイン水和剤	炭酸水素ナ トリウム・銅	750~1000倍	収穫前日まで	—	◎						/	/	/	/	/	/	/	/
○	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素 ナトリウム	800倍 800~1000倍	収穫前日まで	—	◎			◎			/	/	/	/	/	/	/	/
○	コサイドボルドー	銅	1000倍	—	—	斑点細菌病で登録					/	/	/	/	/	/	/		
○	Zボルドー		500倍	—	—	斑点細菌病で登録					/	/	/	/	/	/	/		
	カスミンボルドー	カスガマイ シン・銅	1000倍	収穫7日前で	計3 回					◎		/	/	/					
	銅												◎						
	トップジンM水和剤	チオファネ トリアジン	1500倍	収穫前日まで	3						◎	4/24	5/30	/					←高温時に薬害のおそれがある
	トリフミン水和剤	トリフルミ ジン	5000倍	収穫前日まで	3	◎					◎	4/13	/	/					
	モレスタン水和剤	キノキサリン	3000倍	収穫前日まで	3	◎	ハダニにも登録					/	/	/				←高温時に薬害のおそれがある	
	リゾレックス水和剤	トルクロホス フィン	1000倍	は種時及び子葉展開時	2		◎					/	/						※植穴土壌かん注(150ml/1穴)
	ロブラール水和剤	イプロジオン	2000倍	収穫前日まで	3				◎		◎	4/1	5/9	/					
	パンソイル乳剤	エクロメゾール	2000倍	は種時~発芽初期	2		◎					/	/						※200ml/株 株元灌注
	リドミル粒剤2	メタラキシル	10kg/10a	収穫前日まで	3	疫病で登録あり					/	/	/					※株元散布	
	アミスター20フロアブル	アゾキシト リン	2000倍	収穫前日まで	2	◎						/	/						
	スミレックスくん煙顆粒	プロシドン	6g/100m ³ (床面50m ² × 高さ2m)	収穫前日まで	5				◎			/	/	/	/	/	/	/	
												/	/	/	/	/	/	/	
												/	/	/	/	/	/	/	

※「ボトキラー水和剤」、「インプレッション水和剤」については、湿展性の展着剤を加用し、低温時(10℃以下)の散布は避ける。

※使用時期(収穫何日前まで)欄の1日は24時間前。前日までは24時間前までに使用。

平成22年12月20日現在

殺虫剤

野菜類で登録

農薬名	成分名	使用量 希釈倍数	使用時期 (収穫前日まで)	使用回数	アブラムシ	アザミウマ	ヨトウ	ハスモン	タバコガ	オオコガ	ネキリムシ	農薬散布日				
					◎	◎	◎	◎	◎	◎	/	/	/	/		
アタブロン乳剤	クロルフルアズロン	2000倍	収穫前日まで	4			◎	◎				/	/	/	/	
アディオン乳剤	ペルメトリン	2000倍	収穫前日まで	計3回	◎		◎	※				/	/	/	※使用時期(収穫何日前まで)欄の1日は24時間前。前日までは24時間前までに使用。	
ガードベイトA		3kg/10a	は種時～生育初期						◎				/	/		/
アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド	4000倍	収穫前日まで	3	◎	◎						4/20	5/19	/		
アフーム乳剤	エマメクチン	2000倍	収穫前日まで	2					◎			/	/			
オルトラン水和剤	アセフェート	1000倍	収穫7日前まで	計1回	◎							/				
ジェイエース水溶剤		1000倍	収穫3日前まで		◎											
コテツフロアブル	クロルフェナビル	2000倍	収穫前日まで	2			◎	◎				/	/			
トレボン乳剤	エトフェンプロックス	1000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
モスピラン水溶剤	アセタミプリド	4000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン	6kg/10a	収穫60日前まで	2						◎		/	/	※土壌表面散布		
マトリックフロアブル	クロマフェナント	2000倍	収穫前日まで	3			◎					/	/	/		
ダントツ水溶剤	クロチアニジン	2000～4000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
アクタラ顆粒水溶剤	チアメキサム	2000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	2000倍	収穫前日まで	計2回	◎							/	/			
アルバリン顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで		◎								/	/		
○ B	エスマルクDF ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤	BT	1000倍	発生初期但し収穫前日まで	-					◎		/	/	/	/	
○ T										◎	◎		/	/	/	/
○ 剤										◎	◎		/	/	/	/
○	サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド	300倍	収穫前日まで	-	◎						/	/	/	/	
												/	/	/	/	
												/	/	/	/	

除草剤	バスタ液剤	10aあたり バスタ液剤300～500mlに対して 水量100～150ℓ	使用時期 1日前	使用回数 3	適用雑草名 1年生雑草	散布日 / / /
						←雑草生育期は種前又は畦間処理

展着剤	アプローチBI	希釈倍数・使用量 2000倍	適用農薬名 殺虫剤 殺菌剤	散布日 / / /

平成22年12月20日現在